

問 防災初期を乗り切るために、発災前から地域と連携した打ち合わせ（準備会）が必要と思うが見解を伺う。

総務部長 発災前から地域との連携を確認して備えることは重要なことだと考えます。これから地域の方々との確認というところを、より強く進めていきたいと思えます。

個別マニュアル必要では

問 避難所ごとのマニュアル作成をどのように考えているか伺う。

総務部長 現在の（避難所）マニュアルについて一通り必要なことは掲載していると思えます。個々にということですので、（現在の避難所マニュアルの）内容を点検の上、必要があると思われる部分、地区については個別マニュアルを検討してみたいと思えます。

問 避難所開設の方法をどのように考えているか伺う。

総務部長 避難所の開設については、避難所となる施設の職員及び避難所班として位置付けていま

す。市の職員が共同して開設をすることになっています。

各学校については、学校の教職員や教育委員会の職員が開錠し、市職員と協力して開設するということです。

問 例えば小中学校であれば、学校に（開設担当の）行政担当者をしつかり通知しておかないと、行政の誰が来てくれるのかなど混乱が起きると思うがどうか。

総務部長 これは事前にその避難所ごとに担当者を明示しておくべきというご意見と承りました。現実には、事前に25ある避難所に職員を割り当てておくということは難しいところがあると思えます。

◎その他の一般質問

- ・ 地方創生
- ・ 通学路交通安全プログラム



避難所対策

長田 忠広

若者の交流の場つくって

問 少子化（対策）はまず結婚であり、その出会いの場が必要だと思う。若者が企画、運営する交流の場をつくってはどうか。

市長 地方創生総合戦略の素案において「共創のまちをつくる」ともに、地域と地域を連携する」を基本目標に掲げており、既存の地域資源を活用しながら、地域コミュニティを生かしたまちづくりに取り組むことを検討しています。若者が主体となって交流の場をつくることは、コミュニティの充実、活気あるまちづくりを行う上で大切だと考えます。市としても、意欲ある若者たちの発掘に努め、支援の方法について検討していきたいと考えます。

問 空港民営化も検討され、岩沼市まち・ひと・しごと創世総合戦略の最大の課題である、雇用の確保、財政基盤の安定化を図るための健康医療産業集積地の進捗状況はどのようになっているのか。

市長 これまでも矢野目西について

て努力をしましたが、成熟しなかった経緯もあります。できるだけ地元の協力、地元を考え、企業の要望に応じていきたいと考えます。新しい矢野目西を含めて調査し、今後、具体的な策を導き出していきたいと考えます。

問 子育て世代が働きやすい環境として事業所内保育がある。新制度になりどのように考えているのか。

健康福祉部長 女性が安心して産み育てる環境の整備はいわぬま末来構想のまちづくりの柱です。人が集まる産業づくりを進めるため今年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画において、事業所内で保育事業を検討される企業に対し、支援を行うことにしています。

◎その他の一般質問

- ・ 空き家対策



地方創生

佐藤 一郎